

平成30年度  
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会  
事業報告書

# 目次

I	地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業	2
1	安心生活見守り事業	2
(1)	安心生活見守り事業	2
2	生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）	11
3	地域福祉活動計画の推進	14
(1)	第3次地域福祉活動計画推進事業	14
4	小地域福祉活動	15
(1)	小地域福祉活動計画3地区合同研修会の開催	15
(2)	小地域福祉活動計画の策定	15
(3)	福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業	16
(4)	地区社会福祉協議会活動支援事業	17
(5)	友愛訪問活動への支援	19
(6)	コミュニティワーク推進モデル事業	19
5	ボランティア活動の推進	20
(1)	ボランティアセンター事業	20
(2)	災害にも強い地域づくり事業の推進	22
6	福祉教育（ふくし共育）推進事業	23
(1)	福祉教育（ふくし共育）推進事業	23
(2)	広報充実事業	25
(3)	社会福祉士養成課程実習生の受入れ	25
II	福祉サービスを利用しやすくするための支援事業	26
1	総合相談事業の実施	26
(1)	生活困窮者自立支援事業	26
(2)	心配ごと相談事業	27
(3)	福祉金庫貸付事業	27
(4)	生活福祉資金貸付事業	28
(5)	墓地清掃サービス事業	28
2	日常生活自立支援事業	28
(1)	日常生活自立支援事業（あすてらす）	28
III	在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～	29
1	介護保険サービス	29
(1)	訪問介護事業	29
(2)	受託訪問介護事業の推進	29
2	障害福祉サービス	29
(1)	障害福祉サービス事業	29
3	その他のサービス	30
(1)	日常生活用具貸与事業	30
(2)	リフト付き自動車貸出事業	30
(3)	福祉サービス適正化事業	31
(4)	大田原市介護支援ボランティアポイント制度	31
IV	法人の基盤強化事業	31
1	福祉のまちづくり市民参加運営事業	31
(1)	理事会・評議員会の開催	31
(2)	会員加入の推進	35
2	基金・寄付事業	35
(1)	善意銀行運営事業	35
(2)	地域福祉基金造成事業	36

(3) 赤い羽根共同募金事業.....	37
3 その他.....	39
(1) 大田原市福祉センター管理運営事業.....	39
(2) 被表彰者について.....	39

# 平成30年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

平成30年度、大田原市社会福祉協議会は、下記の3つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

大田原市の地域福祉計画と一体的に第3次地域福祉活動計画を策定し、「**お**たがいを**お**もいやり**た**のしく**わ****ら**ってくださるまち大田原」を基本理念として「市民参加の地域福祉推進」を目的として、地域との連携のもと活動に取り組んでいきます。

住んでいる地域の良いところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「支え合いの地域づくり」(互助・共助)を進めるための「小地域福祉活動計画」の策定に取り組み、平成30年度は、大田原東部地区、佐久山地区、湯津上地区から取り組みをはじめ、市内全地域での策定を目指しています。

市から「生活困窮者自立支援事業」を受託し、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に見合った必要な支援を行っています。

平成30年度は、あらたな活動として「墓地清掃サービス」を開始しました。

他の取り組みとしては、「安心生活見守り事業」で地域ぐるみの見守り活動、「生活支援体制整備事業(ささえ愛おたわら助け合い事業)、福祉委員による小地域ネットワーク活動、ふくし共育推進事業、ボランティア活動の推進、共同募金運動、介護保険サービスや障害福祉サービスなどを実施しました。

## ＝平成30年度重点事業＝

- (1) 第3次地域福祉活動計画
- (2) 小地域福祉活動計画
- (3) 生活困窮者自立支援事業

## 事業実施状況

### I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

#### 1 安心生活見守り事業

##### (1) 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」を大田原市からその一部を受託しています。平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや買い物支援などを基盤支援として、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

平成26年度には市内で全地区の12見守り隊が発足し、本事業は、見守りの必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行い、市内全地区で事業を展開してきました。

平成30年度は、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）」と連携して、住民参加の地域福祉を推進し、地域の課題解決力を高めるため内容の充実を図っています。

#### 安心生活見守り事業の3原則

- ・ 基盤支援を必要とする人々とそのニーズを把握する
- ・ 基盤支援を必要とする人がもれなくカバーされる体制をつくる
- ・ 基盤支援のための安定的な地域の自主財源確保に取り組む

#### ①各地区の状況

##### i) 黒羽見守り助け合い隊

###### 隊の概要

発足式年月日	平成22年3月16日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	132人
隊員数	103人

###### 平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月12日	買い物ツアー（ザ・ビッグエクストラ那須塩原店）	20人
6月16日	茶わ会（北滝、片田、亀久、矢倉地区） 亀久公民館	49人

6月26日	第1回隊長会議（活動報告、活動計画等）	15人
6月26日	第1回推進会議（活動報告、活動計画等）	53人
7月31日	絵手紙（暑中見舞い）送付 黒羽小学校より	125人
9月20日	第2回隊長会議及び協議体会議	25人
10月27日	茶わ会（堀之内、北区、南区東、南区西地区）	39人
10月28日	芭蕉の里くろばね秋まつり募金活動	15人
11月14日	買物ツアー（ヨークベニマル西那須野店）	23人
12月25日	絵手紙（年賀状）送付 黒羽小学校より	131人
3月8日	茶わ会（田町・前田、八塩地区）	35人
毎月	助け合い隊便りの発行配布	

## ii) 佐久山おもいやり隊

### 隊の概要

発足式年月日	平成23年2月8日
自治会数	17自治会
見守り利用者数	163人
隊員数	118人

### 平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月23日	推進会議（活動報告、活動計画）	70人
5月24日	男の料理教室	19人
6月29日	第1回隊長会議（隊員研修、茶話会、会食会、助成金交付）	30人
7月19日	情報交換会	11人
7月20日	男の料理教室	21人
7月27日	隊員視察研修（宮城県岩沼市社協）	30人
8月2日	茶話会（福原地区）	46人
8月24日	会食会	71人
10月31日	第2回隊長会議（買い物ツアー、文化祭バザー）	27人
11月18日	佐久山産業文化祭参加（バザーほか）	—
11月26日	地域包括ケア会議、民生委員との情報交換会	13人
12月5日	買い物ツアー	27人
12月26日	男の料理教室	20人
3月25日	新旧隊長会議	47人

### iii) 紫塚地区見守り隊

#### 隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	100人
隊員数	75人

#### 平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月27日	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	24人
5月28日	推進会議（活動報告、活動計画、グループワーク）	48人
6月18日	第1回隊長会議（会食会）	18人
7月 5日	会食会	88人
9月15日	ふれあい紫広場展示	—
10月14日	西地区文化祭展示 （西地区あったか思いやりの会と合同）	—
10月17日	第2回隊長会議（認知症サポーター養成講座）	13人
12月13日	第3回隊員研修会（認知症サポーター養成講座）	29人
1月23日	第4回隊長会議（見守りと避難支援の地域づくり）	19人
3月13日	第5回隊長会議（活動報告・活動計画）	21人

### iv) ちかその思いやり隊

#### 隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	10自治会
見守り利用者数	144人
隊員数	131人

#### 平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 5日	推進会議（活動報告、活動計画）	91人
5月17日	第1回隊長会議 （会食会、認知症サポーター養成講座）	26人
6月13日	会食会	58人
7月 4日	民生委員との情報交換会	14人
8月 2日	認知症サポーター養成講座	60人
8月22日	認知症によるひとり歩き者への声掛け訓練	53人

9月 5日	第2回隊長会議（買い物ツアー、文化祭バザー）	25人
10月28日	親園地区文化祭（バザー、福祉相談）	—
12月 7日	民生委員との情報交換会	15人
2月14日	ちかその思いやり隊チーム会議	7人
2月20日	第3回隊長会議（見守り活動の状況等について）	20人
3月28日	新旧隊長会議（隊長引継ぎ等）	32人

#### v) 西部地区あったか思いやりの会

##### 会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	252人
会員数	125人

##### 平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月28日	西部地区あったか思いやりの会新会員説明会	13人
5月11日	第1回地区会長会議（活動計画）	13人
5月11日	推進会議	88人
7月10日	茶話会（神明町地区）	21人
8月22日	茶話会（加治屋地区）	37人
8月29日	茶話会（浅野地区）	29人
10月14日	西地区文化祭展示（紫塚地区見守り隊と合同）	—
10月29日	西地区あったか広場（握力測定実施者は436人）	—
11月22日	茶話会（赤堀東地区）	34人
11月29日	茶話会（赤堀西地区）	49人
12月 7日	茶話会（西原地区）	27人
12月16日	茶話会（原町地区）	33人
3月 4日	第2回地区会長会議	16人

#### vi) 須賀川地区見守り隊

##### 隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	117人
隊員数	105人



平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月30日	第1回隊長会議（須賀川出張所）	25人
5月30日	推進会議：活動報告・活動計画（須賀川出張所）	52人
6月（月間）	隊員による利用者への安否確認	—
9月15日	セブンイレブンお試し移動販売 （須佐木ほほえみセンター）	23人
9月18日	セブンイレブンお試し移動販売 （須賀川ほほえみセンター）	12人
9月22日	セブンイレブンお試し移動販売（川上ほほえみセンター）	24人
10月11日	見守り隊・地区社協合同買い物ツアー	23人
11月11日	やみぞあづまっぺ秋の収穫祭り・募金活動（雲巖寺 前駐車場）	—
11月17日	セブンイレブン移動販売（川上ほほえみセンター）	16人
12月 9日	須賀川新そば祭り・募金活動（旧須賀川小）	—
12月15日	セブンイレブン移動販売 （須賀川中・須佐木ほほえみセンター）	29人
12月22日	セブンイレブン移動販売（川上ほほえみセンター）	14人
3月26日	第2回隊長会議（須賀川出張所）	30人

vii) ゆづかみ見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会（11地区隊）
見守り利用者数	106人
隊員数	235人

平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
3月31日	地区説明会（狭原地区）	24人
4月25日	地区説明会（二輪地区）	16人
4月17日	地区説明会（仲宿・古宿・田宿・佐良土西地区）	26人
5月11日	第1回隊長会議（隊員証・委嘱状交付）	31人
6月20日	ふれあいお楽しみ会（地区社協と共催）	79人
6月23日	狭原・小船渡合同茶話会	29人
7月12日	湯津上地区区長懇談会	20人

9月 3日	第1回小地域福祉活動計画策定委員会	31人
9月14日	中学生高齢者訪問活動支援	29人
10月 4日	湯津上3地区合同茶話会	28人
10月28日	狭原・小船渡合同茶話会	27人
11月18日	ゆうあい広場（啓発活動）	92人
2月11日	蛭畑地区茶話会	16人
3月12日	第2回隊長会議	19名

#### viii) 東部地区見守り隊

##### 隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	128人
隊員数	538人

##### 平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月22日	地区説明会、モデル地区指定(富士見ハイツ地区)	28人
5月25日	第1回隊長会議(事業報告、事業計画、見守り事業並びに生活支援体制整備事業の推進、モデル地区指定等)	36人
7月 5日	推進会議(委嘱状の交付、活動費の支給等)、地域資源調査会議	109人
9月26日	第2回隊長会議(見守り活動状況、生活支援体制整備事業の推進、生活支援実態調査実施計画等)	40人
10月 8日	東部地区ふれあいひろば(啓発活動、握力測定)	—
11月15日	認知症サポーター養成講座	54人
11月29日	東部地区地域包括ケア会議	31人
2月21日	第3回隊長会議(次年度事業計画案、見守り事業の推進、小地域福祉活動計画、生活支援実態調査結果等)	43人

#### ix) 両郷地区見守り隊

##### 隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	12自治会(9地区隊)
見守り利用者数	135人
隊員数	176人

平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月 8日	第1回隊長会議（事業報告、事業計画等）	23人
9月19日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	32人
10月16日	栃木県警表彰（安全で安全な街づくり）	26人
3月18日	第2回隊長会議（事業実績、次年度事業計画予算）	21人

x) 川西地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年11月19日
自治会数	15自治会（18地区隊）
見守り利用者数	142人
隊員数	239人

平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 1日	地区説明会（上町地区）	18人
4月 7日	地区説明会（余瀬地区）	14人
4月 8日	地区説明会（桧木沢地区）	18人
4月11日	大豆田地区カフェ	16人
4月12日	地区説明会（寒井本郷地区）	15人
4月13日	地区説明会（下町1区）	16人
4月28日	地区説明会（蜂巢地区）	12人
5月12日	第1回隊長会議	29人
5月24日	寒井北部地区カフェ （地区説明会、利用者の再確認）	14人
5月26日	推進会議（委嘱状交付、研修会）	74人
6月13日	大豆田地区カフェ	14人
6月17日	移動カフェ 広報活動（消防操法競技会）	—
6月22日	おやまだい おひさまカフェ（旧川西中学校）	43人
7月27日	おやまだい おひさまカフェ（旧川西中学校）	37人
8月 7日	移動カフェ（上町地区たんぽぽ会）	18人
8月 8日	大豆田地区カフェ	14人
8月24日	おやまだい おひさまカフェ（旧川西中学校）	37人
9月28日	おやまだい おひさまカフェ（旧川西中学校）	39人

10月8日	エルム福祉会感謝祭 (PR・自主財源確保)	—
10月17日	大豆田地区カフェ	20人
10月22日	桧木沢地区カフェ	18人
10月26日	おやまだい おひさまカフェ (旧川西中学校)	32人
11月4日	おやまだい おひさまカフェ (支援学級芋掘り)	55人
11月16日	おやまだい おひさまカフェ (視察研修受け入れ)	32人
11月23日	黒羽刑務所矯正展 (PR・自主財源確保)	—
11月30日	おやまだい おひさまカフェ (旧川西中学校)	40人
12月5日	大豆田地区カフェ	18人
12月21日	おやまだい おひさまカフェ (旧川西中学校)	22人
12月23日	桧木沢地区ふれあい祭り (PR・自主財源確保)	—
1月25日	おやまだい おひさまカフェ (旧川西中学校)	37人
1月27日	黒羽大花市 (PR・自主財源確保)	—
1月28日	上町地区カフェ (認知症サポーター養成講座)	14人
2月12日	桧木沢地区カフェ	18人
2月14日	大豆田地区カフェ	16人
2月17日	おやまだい おひさまカフェ (旧川西中学校)	45人
2月17日	蜂巢地区カフェ	13人
2月22日	おやまだい おひさまカフェ (旧川西中学校)	27人
2月24日	余瀬地区カフェ	18人
2月26日	下町2区カフェ	21人
3月16日	桧木沢サイプレス地区カフェ	12人
3月22日	おやまだい おひさまカフェ (旧川西中学校)	30人
3月25日	桧木沢地区カフェ	15人
3月28日	おやまだい おひさまカフェ (隊長会議)	26人
3月30日	寒井地区カフェ	38人
毎月	川西地区見守り隊便り25号～35号	

#### xi) 金田地区おもいやり隊

##### 隊の概要

発足式年月日	平成26年11月28日
自治会数	26自治会 (32地区隊)
見守り利用者数	207人
隊員数	376人

平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月27日	新旧隊長会議	52人
5月23日	推進会議（委嘱状の交付、活動計画等）	63人
6月21日	第1回隊長会議	42人
7月31日	認知症サポーター養成講座（金田北地区）	47人
9月20日	第2回隊長会議	23人
10月16日	認知症サポーター養成講座（金田南地区）	27人
11月10日	金田地区文化祭（募金、PR活動）	21人
11月22日	中央包括ケア会議	26人
3月12日	第3回隊長会議	29人

xii) 野崎地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成27年2月19日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	119人
隊員数	245人

平成30年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 7日	のざき桜祭り（PR活動）	197人
5月 2日	第1回チーム隊長会議	18人
5月17日	推進会議	96人
7月26日	第2回チーム隊長会議	19人
10月28日	野崎文化祭（PR活動）	250人
11月 2日	認知症サポーター養成講座	24人
11月10日	認知症によるひとり歩き者への声かけ訓練	31人
11月29日	第3回チーム隊長会議（事業報告、他）	19人
1月31日	第4回チーム隊長会議（新年度事業計画、他）	20人
3月27日	第5回チーム隊長会議（新年度総隊役員選出依頼、他）	16人
4月～3月	野崎ニュータウン地区居場所活動開催中（月1回）	計176人
4月～3月	上薄葉地区居場所活動開催中（月1回）	計203人
10月～3月	薄葉団地地区居場所活動開催中（月2回）	計173人
6月30日	下石上地区いきいきクラブ設立総会（7月～稼働）	40人
3月～5月	全地区にて見守り活動事前説明会実施 ※ 各地区自治公民館にて新隊員を対象に実施	参加者計 181人

## ② 安心生活見守り事業関連の視察受け入れ一覧

月日	依頼者	参加人数	内容
7月11日	埼玉県上尾市大谷支所	14人	安心生活見守り事業について（西部地区あったか思いやりの会）
11月5日	さいたま市社会福祉協議会 植水地区社会福祉協議会	20人	安心生活見守り事業について
11月16日	宇都宮市城東地区社会福祉協議会	32人	安心生活見守り事業について（川西地区見守り隊）
合計		66人	3回

## ③ 安心生活見守り事業 会議等

月日	内容	会場
2月4日	安心生活見守り事業推進会議	大田原市庁舎

### ○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行いました。

平成30年度配布本数 92本（本所のみ）本所累計 1,404本

## 2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）

市からの受託事業である「ささえ愛おおたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」として、第2層コーディネーターの配置と支え合いの地域づくりを進める協議体の取り組みを行っています。

安心生活見守り事業の地区担当主任が第2層生活支援コーディネーターとして委嘱され、12地区ごとに第2層協議体を設置し、運営の支援を行っています。平成30年度は、地域資源の把握や地域課題の洗い出し等を行い、安心生活見守り事業の活動や地区社協などの、多様な主体と連携できるよう、地域の実情に合わせた話し合いを進めています。

### ○各地区の状況

#### ①東部地区協議体

月日	主な内容	参加人数
5月2日	目指す地域像の策定、地域資源調査会議の説明等	16人
9月7日	地域支援事業の推進、地域資源調査会議の結果等	17人
12月12日	各種調査結果、歌える喫茶「おれんじ」の活用等	17人
1月25日	「おれんじ」の利用規定、空き家・空き店舗の活用	10人
3月20日	小地域福祉活動計画の推進、生活支援実態調査結果	19人

**②西部地区協議体**

月 日	主 な 内 容	参加人数
4月18日	西部地区の課題	13人
6月18日	西部地区の生活支援体制整備事業の進め方	13人
9月 5日	高齢者が集う居場所づくりの検討	12人
11月 5日	高齢者が集う居場所づくりの検討	16人
3月 4日	高齢者が集う居場所づくりの開設に向けて	16人

**③紫塚地区協議体**

月 日	主 な 内 容	参加人数
5月18日	「見守りの在り方」について（グループワーク）	19人
8月24日	「見守りのあるべき姿」について（グループワーク）	16人
11月16日	「災害を切り口に地域づくりを考える」について	18人
2月22日	「アンケート」・「小地域福祉活動計画」について	21人

**④金田地区協議体**

月 日	主 な 内 容	参加人数
7月25日	アンケート調査実施について	25人
11月30日	アンケート調査結果から（グループワーク）	24人
2月14日	金田地区の10年後について（グループワーク）	21人

**⑤親園地区協議体**

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月13日	親園地区の課題と困りごと等について	19人
12月19日	地域の現状と課題について	21人
2月 7日	地域の現状と課題の再確認等	20人
2月27日	地域の課題の絞り込み	20人

**⑥野崎地区協議体**

月 日	主 な 内 容	参加人数
5月 2日	地域の課題・資源について	18人
7月26日	地域の課題について—1	20人
11月29日	地域の課題について—2	21人
1月31日	地域の課題の絞り込み	22人

⑦佐久山地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月15日	協議体役割の具現化	25人
9月14日	新たな課題の洗い出し及びマッチング	19人
12月14日	外出支援の取り組み方、中学校跡地の活用	20人
1月23日	目指す地域像	35人
3月 8日	目指す地域像決定「笑顔咲く佐久山」	20人

⑧湯津上地区協議体

月 日	内 容	参加人数
5月30日	高齢者の交通手段・居場所づくり・協議体委委員の推薦。	14人
7月30日	地域資源協議	10人
9月3日	三つの目標設定、地域課題の洗い出し。	10人
10月1日	三つの目標設定①後継者育成②居場所づくり③世代間交流事業	8人
11月5日	三つの目標①後継者育成②居場所づくり③世代間交流事業の具体的取組を協議。	10人
12月3日	三つの目標③世代間交流事業を③情報が伝わる地域づくりに置き換える。	8人
1月7日	小地域福祉活動計画（案）を文語、写真配置、5年間予定協議。	8人
2月4日	1月7日計画素案の最終協議。	7人
3月26日	2019年度は「情報が伝わる地域づくり」の情報集約、発信を協議する。	16人

⑨黒羽地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
4月26日	地区社協理事会説明	15人
6月26日	見守り隊長会説明	15人
9月20日	隊長会議合同会議、地域調査	18人

⑩川西地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月12日	目指す地域像について	14人
9月29日	勉強会	41人
3月28日	生活支援体制整備事業について	26人



### ⑪両郷地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月25日	地域の資源	7人
9月5日	地区老人クラブとの話し合い	7人
12月12日	地区老人クラブ話し合い内容検討	8人
2月13日	居場所の開設	8人

### ⑫須賀川地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月27日	生活支援体制整備事業・買い物ツアーについて	14人
9月18日	買い物ツアー・移動販売について	12人

## 3 地域福祉活動計画の推進

### (1) 第3次地域福祉活動計画推進事業

平成29年度から行ってきた地域座談会や意識調査結果に基づき、更に第2次計画からの住民の意見、アイデア、思いをつなぐため、推進委員会からの提言書を受け、社会福祉法に準拠した内容を記載し、福祉関係計画の上位計画としての役割を果たすため、大田原市の地域福祉計画と一体的に第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画(平成31年度から35年度)を策定した。今後計画の実施段階で横断的に連携するためのきっかけとなるよう市関係各課職員からなる市庁内検討部会の実施内容の確認や意見などを取り入れた。また、地域毎の状況に合わせた小地域福祉活動計画の策定に繋がる計画となりました。

#### 第3次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画会議日程

番号	月 日	内 容
1	5月24日	推進委員会(第2次計画)
2	5月24日	小地域福祉活動計画社協職員勉強会
3	5月25日	3地区合同 小地域福祉活動計画研修会
4	6月26日	第1回市庁内検討部会・職員勉強会
5	7月6日	第1回策定委員会(第3次計画)
6	12月18日	第2回策定委員会(第3次計画)
7	1月11日	第3回策定委員会(第3次計画)
8	1月16日～2月4日	パブリックコメント(市ホームページ)

## 4 小地域福祉活動

### (1) 小地域福祉活動計画3地区合同研修会の開催

平成30年度に小地域福祉活動計画に取り組む3地区、地区社協のリーダーが、地域福祉の課題やこれからの地域福祉の方向性を認識し、小地域福祉活動計画策定のための視点やポイントについて学ぶ研修会を行いました。

日 時：6月22日（金） 午後1時30分～3時30分

場 所：大田原市福祉センター

参加者：15名 東部地区社協・佐久山地区社協・湯津上地区社協役員他

内 容：・講話「5年後の地域をどう創るか」

講師：国際医療福祉大学 林 和美 教授

・地区ごとの話合い

### (2) 小地域福祉活動計画の策定

平成30年度大田原東部地区、佐久山地区、湯津上地区の3地区において小地域福祉活動計画の策定に取り組みました。

#### ①大田原東部地区の取り組み

月 日	事 業 内 容	参加人数
4月20日	地区社協理事会：小地域福祉活動計画モデル地区について説明	20人
5月25日	地区社協総会：小地域福祉活動計画について説明	57人
6月22日	3地区合同会議：策定方法について協議	7人
6月22日	第1回策定委員会：委員会の設置、正副委員長選出ほか	7人
7月 5日	第2回策定委員会：策定の進め方、課題の洗い出し	7人
9月 7日	第3回策定委員会：課題から目標の検討	15人
11月 1日	第4回策定委員会：目標の設定・具体的な取り組み検討	13人
11月27日	第5回策定委員会：計画の内容確認・計画書のまとめ	13人
12月12日	第6回策定委員会：計画書の確認	17人
平成31年 2月14日	地区社協理事会：計画書策定の報告、承認	23人
2月22日	見守り隊隊長会議：策定経過報告、計画書の説明	43人

#### ②佐久山地区の取り組み

月 日	事 業 内 容	参加人数
5月21日	地区社協総会：小地域福祉活動計画について説明	46人

6月22日	3地区合同会議：策定方法について協議	6人
9月4日	第1回策定委員会：委員会の設置、正副委員長選出ほか	17人
10月26日	第2回策定委員会：策定の進め方、課題の洗い出し	20人
11月15日	地区社協臨時理事会：小地域福祉活動計画策定について	16人
11月22日	第3回策定委員会：課題から目標の検討	14人
12月7日	第4回策定委員会：目標の設定・具体的な取り組み検討	13人
平成31年 1月23日	第5回策定委員会：計画の内容確認・計画書のまとめ	15人
2月13日	第6回策定委員会：計画書の確認	16人
2月25日	地区社協臨時総会：計画書策定の報告	40人

### ③湯津上地区の取り組み

月 日	事業内容	参加人数
5月14日	地区社協総会：小地域福祉活動計画について説明	60人
6月22日	3地区合同会議：策定方法について協議	7人
7月3日	策定委員会準備：委員の選考について検討	8人
7月6日	策定委員会準備：委員の選考について検討	8人
8月6日	策定委員会準備：委員の選考、推薦ほか	10人
8月29日	準備会議：策定委員会の進め方	10人
9月3日	第1回策定委員会：内容・課題の洗い出し	31人
10月1日	第2回策定委員会：目標の検討	27人
11月5日	第3回策定委員会：具体的な取り組み検討	29人
12月3日	第4回策定委員会：計画の内容確認・計画書のまとめ	23人
平成31年 1月7日	第5回策定委員会：計画書の原案策定	23人
2月4日	第6回策定委員会：印刷・周知に向けて	16人

### (3) 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により172名が活動を行いました。

小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行いました。

① 福祉委員活動の地区ごとの代表者を決め連絡網を作りました。

② 民生委員・児童委員、福祉委員連絡協議会の開催

地域の見守り活動の推進役である福祉委員の理解促進を図るとともに、身近な相談役である民生委員・児童委員とのつながりづくりを目的に開催しました。

	地 区	月 日	場 所
1	湯津上地区	5月16日(水)	市湯津上庁舎
2	大田原西部・紫塚地区	6月4日(月)	大田原西地区公民館
3	大田原東部地区	6月6日(水)	東地区公民館
4	黒羽(黒羽、須賀川)地区	6月11日(月)	黒羽川西地区公民館
5	野崎地区	6月14日(木)	野崎研修センター
6	佐久山地区	6月15日(金)	佐久山地区公民館
7	金田地区	6月19日(火)	金田北地区公民館
8	親園地区	6月20日(水)	親園農村改善センター
9	黒羽(川西・両郷)地区	6月25日(月)	黒羽川西地区公民館

#### (4) 地区社会福祉協議会活動支援事業

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会員一人当たり250円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりでした。

##### ① 地区社協研修会

平成31年度以降に小地域福祉活動計画に取り組む地区社協のリーダーが、地域福祉の課題やこれからの地域福祉の方向性を認識し、地域福祉活動の視点やポイントについて学ぶ研修会を行いました。

日 時：7月12日(金) 午後1時30分～3時30分

場 所：大田原西地区公民館

参加者：24名 地区社協役員他

内 容：・講話：「5年後の地域をどう創るか」

講師：国際医療福祉大学 林 和美 教授

・地区ごとの話し合い

## ② 活動助成の内容

地区社協	助成金	活動内容
東部地区社会福祉協議会	531,500円	ふれあい広場、食事サービス（月1回） 「東部社協だより」の発行 等
西部地区社会福祉協議会	652,750円	あったか広場、食事サービス（月4回） 「あったかだより」の発行 等
紫塚地区社会福祉協議会	282,000円	ふれあい紫広場、食事サービス（月3回） 視察研修、「むらさきづか社協だより」の発行 等
金田地区社会福祉協議会	704,000円	食事サービス（月2回）、研修会等
親園地区社会福祉協議会	214,250円	食事サービス（月2回）、「親園福祉だより」の 発行
野崎地区社会福祉協議会	428,900円	ふくしのまち野崎文化祭、食事サービス（月4 回）「ふくしのまち野崎」の発行等
佐久山地区社会福祉協議会	165,000円	食事サービス（月3回）、視察研修 「さくやま社協だより」発行等
湯津上地区社会福祉協議会	252,250円	食事サービス（月1回）、世代間交流事業（縄よじり豊 年棒づくり） 地区社協だより「ゆうあい」の発行、ふれあい友愛広場
黒羽地区社会福祉協議会	248,750円	食事サービス（月1回）、ふれあいサロン（ひとり 暮らし高齢者会食会-川西地区社協と合同） 「黒羽地区社協だより」の発行等
川西地区社会福祉協議会	301,500円	食事サービス（年6回）、ふれあいサロン（ひとり暮ら し高齢者会食会-黒羽地区社協と合同） 「川西地区社協だより」の発行、ふれあい敬老会支援
両郷地区社会福祉協議会	133,000円	学校安全パトロール、食事サービス（年11回） 地区社協だより発行等
須賀川地区社会福祉協議会	122,000円	食事サービス（年8回）、視察研修等
合計	4,035,900円	

## ③ 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行いました。配付活動は見守り活動（訪問安否確認）も兼ねています。

地区社協名	平成 30 年度 食事数	実施回数	対象者数	前年度食事数
大田原東部地区社協	810 食	12 回	73 人	859 食
大田原西部地区社協	2,230 食	48 回	75 人	2,191 食
紫塚地区社協	2,301 食	36 回	75 人	2,274 食
金田地区社協	709 食	24 回	34 人	712 食
親園地区社協	232 食	24 回	13 人	219 食
野崎地区社協	694 食	48 回	19 人	673 食
佐久山地区社協	1,038 食	32 回	44 人	920 食
湯津上地区社協	537 食	12 回	58 人	581 食
黒羽地区社協	708 食	10 回	72 人	617 食
川西地区社協	473 食	6 回	84 人	475 食
両郷地区社協	410 食	10 回	52 人	413 食
須賀川地区社協	215 食	8 回	52 人	188 食
市ボランティア連絡協議会 (黒羽支部)	559 食	4 回	282 人	565 食
合計	10,916 食	274 回	933 人	10,687 食

(助成総額 4,366,400円：共同募金配分)

#### (5) 友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、いきいきクラブが取り組んでいる、友愛訪問活動に助成を行いました。

(大田原市いきいきクラブに50,000円助成)

#### (6) コミュニティワーク推進モデル事業

平成29年度から2年間、栃木県社会福祉協議会のモデル事業として、コミュニティワーク推進体制整備のため、職員研修会を実施しました。

	期日・会場	内 容	参加者
1	5月24日(木) 市福祉センター	講義・演習 「話し合い(グループワーク)の方法」	31名
2	3月11日(月) 市福祉センター	講義・演習 「会議を見える化する技術」	32名

講師：国際医療福祉大学 林 和美 教授（モデル事業アドバイザー）

## 5 ボランティア活動の推進

### (1) ボランティアセンター事業

#### ① 中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原

平成22年度より「中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原」を開催してきました。

- ・実施日：平成30年8月21日(火) 午後1時00分～4時00分
- ・場 所：トコトコ大田原3F市民交流センター大会議室
- ・参加者：中高生30名（中学生15名、高校生15名）  
：実行委員6名 大石 剛史 氏、星 雅人 氏、鏑木哉文氏、  
室野井 和司氏、鈴木 庸一氏、黒岩夏鈴氏  
：職員4名、実習生6名

自分の好きなことを様々な状況にいる人と共有するためにどのような工夫が必要か考えることで、「多様性理解」と「誰も排除しない地域づくり」について、中高生ならではの視点で考えてもらうことを目的に開催しました。

#### ② 災害ボランティア講座開催

ボランティアセンターの運営方法や避難所での特手の活動方法など、昨年までに専門化・細分化していた内容を一度リセットし、基礎的な内容を幅広く学ぶことで、災害ボランティアの裾野を広げることを目的に開催しました。発災時に地域に住む誰しもが関係することをベースに、他人事というイメージで捉えがちな災害ボランティアについて、当事者として平時から「自分にできること」を意識できるようになることを意図したものです。

- ・日 時：9月29日(土) 午後1時00分～4時00分
- ・場 所：大田原西地区公民館2階会議室
- ・受講者：86名（参加者66名 本会職員20名）
- ・講 師：社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会 柴田貴史 氏
- ・内 容：「災害とボランティアについて」

### ③ 市民のまちづくり事業（市・大学ボランティアセンターとの共催）

市政策推進課・生涯学習課・国際医療福祉大学 I UHWボランティアセンターとの共催で、市民のまちづくり事業を実施しました。

社協は福祉ボランティア育成の事業という観点も含めて運営委員会「紙ひこうきの会」の支援を行いました。

- ・運営委員 20名 大学生も参加
- ・運営委員会 6回開催
- ・市民のまちづくりを進める  
「紙ひこうきの会」のあり方 要項を作成
- ・まちづくりの拠点を考える→市への提言書作成

### ④ 市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動（与一まつりしあわせ広場、手作り弁当の配布等）への連携・協力を行いました。

### ⑤ ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
Aプラン	350円	1,320万円	4,591人	4,580人
Bプラン	500円	1,800万円	179人	174人
天災Aプラン	510円	1,320万円	12人	122人
天災Bプラン	710円	1,800万円	41人	39人
計			4,823人	4,915人

### ⑥ ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行いました。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行いました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談	ボランティアコーディネート
	団体数	登録者数			
平成30年度	146団体	4,225名	73名	38件	19件



## ⑦ ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品 目	延べ利用件数	品 目	延べ利用件数
車いす	26台	マイク・スピーカー	4回
アイマスク	0枚	電源コード・ドラム	2回
点字盤	30台	プロジェクター	2回
テント	2回	調理器具	6回
高齢者擬似体験用具	3台	その他	12回

## (2) 災害にも強い地域づくり事業の推進

### ①災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時のボランティア活動支援を迅速かつ円滑に開設・運営できるよう、また日常の関係団体・機関等の連携を進めるため設置している災害ボランティアセンター運営連絡会を開催しました。

「大田原市災害ボランティアセンター」は「大田原市地域防災計画」に基づき、大規模災害発生時などに、災害ボランティアの活動拠点として市社協に設置されるもので、被災地の復旧・復興支援のためのボランティア受入と活動の支援を行うものです。

○構成団体：市民生委員児童委員協議会連合会・市ボランティア連絡協議会・那須野ヶ原青年会議所・IUHWボランティアセンター（国際医療福祉大学）・大田原市（保健福祉部福祉課・総合政策部危機管理課）・市社会福祉協議会

### ○連絡会の開催（委員14名・オブザーバー 2名）

開催日	内 容	出席者数
6月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者避難支援制度について</li> <li>・災害時の個人情報保護法例について</li> <li>・平成30年度災害ボランティア講座について</li> <li>・情報交換 他</li> </ul>	委員11名 オブザーバー2名

## 6 福祉教育（ふくし共育）推進事業

### (1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのためのもの」であり、自分を含めたみんなにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育（ふくし共育）を推進しました。

#### ① 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成29年度に第6回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（620部）、4年生（628部）、及び中学1年生（638部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

#### ② 学校等の福祉教育への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取組みを支援しました。

小・中学校等での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊をはじめ、障がい当事者や、ふくし共育ボランティアグループささえとともに社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援しました。

そして、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行いました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行いました。他に児童・生徒の相談に応じました。

#### ○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校等	対象	参加者数 (人)	協力者 人数 (人)	内 容
1	5月23日	湯津上中	1・2年生	76	10	認知症にやさしい地域を考えよう！in 湯津上中
2	6月8日	大田原小	4・5年生	197	2	～じぶんの町をよくするしくみ～ 赤い羽根共同募金
3	6月12日	佐久山小 福原小	4年生	16	5	認知症にやさしい地域を考えよう！in 佐久山
4	6月15日	西原小	4年生	141	6	地域で活動する方のお話を聞こう
5	6月21日	奥沢小	5年生	14	3	認知症にやさしい地域を考えよう！in 奥沢
6	6月22日	石上小	4年生	9	1	障がい当事者の方と学ぼう
7	6月26日	川西小	4年生	35	3	障がい当事者の方と学ぼう

8	6月26日	親園中	3年生	59	7	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 親園
9	6月26日	野崎中	1年生	53	12	災害と助け合い (DIG)
10	7月10日	両郷中央小	4年生	19	5	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 両郷
11	7月11日	薄葉小	4年生	34	6	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 薄葉
12	7月17日	佐良土小	4年生	11	5	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 佐良土
13	7月17日	親園中	3年生	59	7	地域で活動する方のお話を聞こう
14	8月2日	福原小	4・5・6 年生	13	-	佐久山おもいやり隊茶話会への参加
15	8月24日	佐久山小	4年生	6	-	佐久山おもいやり隊会食会への参加
16	8月30日	須賀川小	5・6 年生	12	3	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 須賀川
17	9月4日	湯津上小	4年生	13	3	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 湯津上
18	9月5日	大田原小	4年生	92	18	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 大田原
19	9月14日	大田原小	5年生	99	1	障がい当事者の方と学ぼう
20	9月14日	湯津上中	1・2・3 年生	113	28	高齢者宅訪問
21	9月21日	親園中	3年生	59	5	障がい当事者の方と学ぼう
22	9月28日	蛭田小	4年生	10	1	障がい当事者の方と学ぼう
23	10月4日	親園小	4年生	24	5	障がい当事者の方と学ぼう
24	10月19日	福原小	4年生	8	1	障がい当事者の方と学ぼう
25	10月24日	金丸小	5年生	15	4	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 金丸
26	10月29日	市野沢小	4・5・6 年生	162	3	福祉講話(障がい当事者の方と学ぼう)
27	11月7日	紫塚小	5年生	48	7	認知症にやさしい地域を考えよう！ in 紫塚
28	11月7日	金丸小	5年生	16	1	障がい当事者の方と学ぼう
29	11月9日	西原小	4年生	142	9	障がいについて学ぶ (車いす体験、アイマスク体験)
30	12月18日	金田南中	1・2・3 年生	87	14	災害と助け合い (DIG)
31	1月10日	西原小	4年生	142	2	障がい当事者の方と学ぼう
32	2月28日	薄葉小	4年生	34	2	障がい当事者の方と学ぼう
合 計				1,818	179	

### ③ 福祉教育研修会の開催

障がい当事者からみた地域課題と、小中学校への想いについて学び、当事者意識をもってふくし共育と児童・生徒の学びを結び付けて考えていただけるようになることを狙いに開催しました。

- ・日 時：11月26日（月）午後1時30分～4時30分
- ・場 所：大田原東地区公民館
- ・参加者：53名（教育関係者、行政、ボランティアグループささえ、社協職員）
- ・協力者：障がい当事者10名
- ・講 師：国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科  
大石 剛史 准教授
- ・内 容：講話「～障がい～私たちと社会の間にあるもの」  
トークセッション「当事者視点で地域課題を考える」  
ワークショップ「聴く・伝える・受け止める」

## (2) 広報充実事業

### ① 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」の裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だいすき」として合わせて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の仕事内容紹介、及び市民のみなさんに考えていただく地域の課題等を入れて、紙面の充実に努めました。（年6回市内全戸配布）

また「おおたわら子ども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域のつながりを考えられるような紙面を作成し、児童・生徒に配布しました。（年2回市内小中学校に配布）

### ② ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ（URL：[www.ohtawara-shakyo.or.jp/](http://www.ohtawara-shakyo.or.jp/)）により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

## (3) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程の国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科実習生6名を事前実習3月16日～20日、本実習7月30日～8月31日、医療福祉実習として、1名を5月22日～7月31日の間受け入れました。実習生を適切に受け入れ指導やアドバイスをすることで社協職員のOJT等資質の向上や社協の評価にもつながりました。

## Ⅱ 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

### 1 総合相談事業の実施

#### (1) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を市から受託し、経済的かつ社会的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

#### ○相談件数

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障害のこと	6件	9	地域との関係について	0件
2	住まいのこと	7件	10	家族関係・人間関係	0件
3	収入・生活費のこと	38件	11	子育て・介護のこと	0件
4	家賃やローンのこと	6件	12	ひきこもり・不登校	1件
5	税金や公共料金のこと	4件	13	DV・虐待	0件
6	債務について	4件	14	食べる物がない	1件
7	仕事探し、就職について	3件	15	その他	1件
8	仕事上の不安やトラブル	0件		計	71件

※平成30年度に新たに受け付けた件数です。

#### ○支援実施延べ回数

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	350回
2	訪問同行・支援	46回
3	面談	354回
4	その他機関との会議（支援調整会議以外）	9回
5	他機関との電話照会・協議	9回
6	その他	12回

※制度の理解促進を図るため、PRに努めました。

5月17日	黒羽民生委員児童委員定例会
6月12日	障害福祉従事者連絡会での説明
10月17日	ケアマネジャー協議会での説明
3月25日	大田原市地域包括支援センター研修会

## (2) 心配ごと相談事業

市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行いました。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、福祉センター及び社協各支所内に相談所を開設しました。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

### ○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場所	回数
大田原	毎週金曜日	9:00～正午	市福祉センター	50回
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター	12回
黒羽	毎月第1・3木曜日	9:00～正午	社協黒羽支所	21回

### ○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数17件）相談者14名

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	4	職業・生業就職	0	家族	2	健康・衛生	0	医療	1	人権	0
年金	0	住宅	0	結婚	0	離婚	2	事故	0	財産	2
精神衛生	2	児童福祉	0	教育・青少年	0	心身障害	0	老人福祉	2	母子福祉	0
その他	1	苦情	1								

○その他の相談件数 146件 社協窓口での相談件数（ボランティア、貸付、見守り関係を除く）

## (3) 福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。善意銀行の拠出金を原資として1借受人あたり2万円または3万円を限度に12ヶ月無利子月賦償還する制度として実施しています。

### ○貸付・償還状況（平成30年度）

前年度末残高 A		1,606,541 円	・前年度償還未済額 856,970 円
30 年度	貸付金額 B	885,000 円	・新規貸出件数 45 件
	償還金額 C	629,000 円	・償還完了件数 32 件
	不納欠損額 D	0 円	・不納欠損件数 0 件
	預金利子 E	13 円	・普通預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0 円	
	残高 G	1,350,554 円	年度繰越 (A-B+C+E-F)

相談件数 77件

※年度末貸付償還未済額は 1,112,970円

#### (4) 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行いました。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障害者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

#### ○貸付・償還状況（平成30年度）

貸付	新規貸付 1件	福祉資金福祉費 1件
償還	償還中 51件	総合支援資金 9件、福祉資金福祉費 12件、福祉資金緊急小口資金 13件、教育支援資金 13件、離職者支援資金 2件、臨時特例つなぎ資金 2件
	償還完了 2件	福祉資金 1件、修学資金 1件
	償還免除 0件	
相談	60件	貸付に関する相談

#### (5) 墓地清掃サービス事業

墓の清掃やお参りが困難な方々のために、就労に向けて相談をしている方々が清掃を代行し行いました。

利用者	回数	内容
1名（高齢者）	2回	墓地2坪 お盆前の清掃・彼岸前の清掃

## 2 日常生活自立支援事業

### (1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で収支の判断が不十分な方の金銭管理や書類預かり等を行う、日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

#### ○あすてらす利用状況

平成30年度状況	生活支援利用者数	備考
年度当初	79名	
新規契約	15名	
解約（死亡・解約）	△16名	死亡6名 後見4名 家族管理3名 施設管理1名 転居1名 自己管理1名
平成30年度末現在	78名	

- ・ 専門員 3人      ・ 生活支援員 24人（社協職員7人含む）  
（内訳：大田原10人、湯津上6人、黒羽8人）

・ 主な支援内容

日常的金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり） ・ 相談

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1) 訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	30年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	21,282,100円	22,937,981円	92.7%
年間延べ利用者数	771人	866人	89.0%
月平均利用者数	64.2人	72人	89.1%
ホームヘルパー数	18人	19人	94.7%

(2) 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を市から受託し、訪問介護事業を実施しました。

	30年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	0円	18,000円	0%
年間延べ利用者数	0人	2人	0%
月平均利用者数	0人	0.1人	0%

2 障害福祉サービス

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

○計画相談支援事業

	30年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	2,080,815円	2,133,937円	97.5%
年間延べ利用者数	145人	144人	100.6%
月平均利用者数	12人	12人	100%
相談支援専門員	1人	1人	100%



### ○障害福祉サービス（居宅介護）

	30年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	8,403,388円	8,741,006円	96.1%
年間延べ利用者数	284人	324人	87.6%
月平均利用者数	23人	27人	85.1%

### ○同行援護サービス

	30年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	818,474円	1,704,120円	48.0%
年間延べ利用者数	71人	93人	76.3%
月平均利用者数	5.9人	7.8人	75.6%

### ○移動支援

	30年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	595,911円	0円	
年間延べ利用者数	22人	0人	
月平均利用者数	1.8人	0人	

## 3 その他のサービス

### (1) 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子など2品目について無償貸与しました。

### ○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	36件	104件	22台	41台
湯津上支所	0件	4件	0台	4台
黒羽支所	25件	25件	21台	16台
計	61件	133件	43台	61台

### (2) リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸し出しを行いました。

○リフト付き自動車貸出件数 83回

### (3) 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また6名の委員による第三者委員会を設置しています。

### (4) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度

介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、65歳以上の方の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的に、大田原市介護保険制度の地域支援事業として、市が実施主体となる事業を社協が受託しました。

#### ○与一いきいきメイト養成講座

期 間 平成30年7月25日～11月20日（7回）

受講者数 12名

#### ○与一いきいきメイト登録者 94名

#### ○いきいき活動受入施設 ほほえみセンター等 21箇所

#### ○与一いきいきメイトフォローアップ研修

日 時 平成30年7月13日 午前9時30分～11時40分

場 所 大田原東地区公民館

参加者 与一いきいきメイト 34名

内 容

講話 与一いきいき体操の効果と実践

講師 国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科 下井 俊典 准教授

## IV 法人の基盤強化事業

### 1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

#### (1) 理事会・評議員会の開催

### 理事会

#### 第1回理事会

1 開催日時 平成30年5月22日（火）午後2時30分～午後4時

2 開催場所 大田原市福祉センター研修室

＝報告事項＝

報告第 1 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

報告第 2 号 会長の専決処分事項の報告について

＝議案＝

議案第 1 号 平成 29 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第 2 号 平成 29 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について

＝監査報告＝

議案第 3 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会臨時職員任用等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

議案第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

議案第 8 号 大田原市地域福祉基金運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 9 号 平成 30 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 1 回評議員会の開催について

## 第2回理事会

- 1 開催日時 平成30年12月19日(水) 午後3時00分～4時30分
- 2 開催場所 大田原市福祉センター研修室

＝報告事項＝

報告第3号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職職務執行状況報告について

＝議案＝

議案第10号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算(第1号)について

議案第11号 平成30年度善意銀行払い出し配分について

議案第12号 大田原市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所運営規程の廃止について

議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会軽トラック貸出要綱の制定について

議案第15号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第2回評議員会の開催について

## 第3回理事会

- 1 開催日時 平成31年3月19日(火) 午後3時30分～4時30分
- 2 開催場所 大田原市福祉センター研修室

＝議案＝

議案第16号 平成31年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画(案)について

議案第17号 平成31年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算(案)について

議案第18号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第3回評議員会の開催について

議案第19号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会常務理事の選定について

## 第1回評議員会

- 1 開催日時 平成30年6月8日(金) 午後1時30分～3時00分
- 2 開催場所 大田原市福祉センター研修室

＝報告＝

報告第1号 会長の専決処分事項の報告について

＝議案＝

議案第1号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第2号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について

＝監査報告＝

議案第3号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会臨時職員任用等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第6号 大田原市地域福祉基金運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

## 第2回評議員会

1 開催日時 平成30年12月26日（水）午後1時30分～3時00分

2 開催場所 大田原市福祉センター研修室

＝議案＝

議案第8号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第1号）について

議案第9号 大田原市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所運営規程の廃止について

議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会軽トラック貸出要綱の制定について

## 第3回評議員会

1 開催日時 平成31年3月26日（火）午後1時30分～3時00分

2 開催場所 大田原市福祉センター研修室

＝議案＝

議案第12号 平成31年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第13号 平成31年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

## (2) 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特别会員、賛助会員の加入促進に努めました。

### ○会員加入の状況

	会 費	会 員 数	納入会費金額	金額前年比
普通会员	500 円	15,955 世帯	8,071,800 円	98.63%
特别会員	1,000 円	731 件	1,017,500 円	98.21%
賛助会員	5,000 円	34 施設	170,000 円	106.25%
計			9,259,300 円	98.72%

## 2 基金・寄付事業

### (1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めました。

	科目	金額	預託者（敬称略）	
			金額	
金 銭 預 託	前年度繰越金	4,372,810円		
	預託金額 平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	1,313,076円	(故) 栗原 敏子	1,180,000円
			大田原市福祉ふれあいまつり 実行委員会	132,753円
			湯津上公民館高齢者学級	323円
	預金利子	47円	普通預金利子	
	合計	5,685,933円		
支 出 の 部	科目	金額	配分先	
	配分金額	630,000円	市身障児(者)保護者会	80,000円
			市ボランティア連絡協議会	260,000円
			市いきいきクラブ	80,000円
			市身障者福祉会	190,000円
市母子寡婦福祉連合会			20,000円	
合計	630,000円			
収入支出差引残高	5,055,933円			

	寄付者氏名	預託物資
物品 預託	大田原商工会議所女性部	折り紙細工
	コーヒーカップ	車いす1台
	栃木県立大田原高等学校生徒会	雑巾100枚
	連合栃木那須地域協議会	タオル160本
	匿名	タオル165本
	キャノングループ那須地区連合会	タオル200本
	大野 喜久子	タオル200本
	匿名	タオル357本
	東京電力常備職員労働組合宇都宮支部大田原班	タオル72本
	栃木県退職公務員連盟那須北支部	タオル890本
	株式会社エツリン	電子レンジ、炊飯ジャー
	白石 美智子	防水シート
康栄観光バス株式会社	ワゴン車 1台	

## (2) 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金(ぎんなん基金)」を設け、寄附、利息等による基金の運用を行っています。

### ○ 基金運用状況

前年度末基金原資残高 ①	202,166,766円	
平成30年度 寄付金額 ②	83,567円	寄付件数 4件 紫塚地区社会福祉協議会 20,000円 大田原ライオンズクラブ女性会 30,000円 与一もくはん会 2,119円 都市計画道路3.3.2大田原野崎線(中央工区)工事安全衛生協議会 28,265円 募金箱 3,183円
預金利息等 ③	1,424,912円	平成23年栃木県公募債利金含
区分間繰入金支出 ④	12,424,406円	平成30年度原資取崩額 11,000,000円 預金利息分繰出 1,424,406円
本年度末基金原資残高 ① + ② + ③ - ④	191,250,839円	定期預金等へ積立

### (3) 赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行いました。平成30年8月26日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

#### ○平成30年度共同募金実績一覧

(単位：円)

募金名	目標額	募金実績額	達成率	前年度実績額
戸別募金	5,650,000円	5,662,387円	100.22%	5,725,275円
特別募金	3,030,000円	3,016,157円	99.54%	3,081,140円
学校募金	350,000円	379,790円	108.51%	339,478円
街頭募金	320,000円	455,868円	142.46%	382,289円
職域募金	470,000円	463,115円	98.54%	532,807円
イベント募金等	220,000円	306,948円	139.52%	258,498円
合計	10,040,000円	10,284,265円	102.43%	10,319,487円

平成30年度募金からの配分：令和元年度の配分予定は 6,744,265円

#### ○共同募金配分金事業

平成29年度の募金実績に応じて、県共同募金会から6,440,001円が大田原市支会に配分されました。

#### ○「おおたわらを良くするしくみ」応援助成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

#### 審査委員会

平成31年1月21日（月）に、大田原市福祉センターにて開催  
助成申請団体による活動説明を経て、審査を行いました。

☆助成対象（助成は令和元年度に実施します）



## 令和元年度に事業に取り組む団体

NO.	団体名	申請事業	助成額
1	いずみの会	とんぼだんごづくりと福祉施設訪問	50,000円
2	一般社団法人えんがお	えんがおベンチプロジェクト	50,000円
3	佐久山地区無料外出支援事業	佐久山の子どもから高齢者の無料送迎	50,000円
4	紫塚ニュータウン自治会 (べっぴんさー9る)	紫塚ニュータウンほほえみ事業	50,000円
5	オカリナの風くろばね	地域の伝統文化に関心をもちながら、オカリナの演奏を通して交流の場をもつ	50,000円
6	富士見ハイツ自治会	高齢者を主体とした食事会の開催とコミュニケーションの場をつくる	50,000円
7	語りべ「造の会」	世代を超えた地域の伝統を伝える語りべ	50,000円

## 平成30年度に事業を実施した団体

NO.	団体名	申請事業	助成額
1	あすなろ友の会 居場所あべさんち	高齢者参加居場所及び共生居場所（ミニデイサービス、日常生活支援、多世代型コミュニティデイサービス）	50,000円
2	薄葉第二いきいきクラブ	安心生活助け合い事業（地域内の助け合い、世代間交流活動の推進）	50,000円
3	黒羽田町自治会	ミニ文化祭を通じて、地域内の世代間交流事業の推進	50,000円
4	語りべ「造の会」	世代を超えて地域の伝統を伝える語りべ（子どもから高齢者までを対象に、語り部の育成と民話の伝承と掘りおこしを行う）	50,000円
5	富士見ハイツ自治会	高齢者の健康維持増進活動（公民館を活用して、地域内の交流推進）	50,000円
6	黒羽盛り上げ隊	黒羽見守り助け合い隊（安心生活見守り事業）への協力、交流活動と「盛り上げ隊新聞」の発行	20,000円
7	傾聴ボランティア大田原	地域での社会的孤立を防ぐ訪問活動	30,000円

### 3 その他

#### (1) 大田原市福祉センター管理運営事業

市からの委託を受けて、市福祉センターの管理運営にあたり、各種講座や会合、集会等に次のとおり利用がありました。

区 分	総数	研修室1.2	研修室3	調理室	相談室	ボランティア室
市福祉センター	558件	209件	147件	47件	50件	107件

#### ○「おもちゃの図書館」の運営

おもちゃ遊びをとおして、障がいのある児童もない児童もふれあい、交流活動が行えるように福祉センター内に「おもちゃの図書館」の設置運営を行っています。

#### (2) 被表彰者について

(氏名 敬称略)

#### 第24回 栃木県民福祉のつどい

平成30年8月29日(水)

##### 栃木県知事 表彰

##### 民生委員・児童委員

江連 静子 尾引 博美 西塚 とみ子  
藤岡 明 益子 安子 松本 茂  
室井 祐之 山上 豊子 渡邊 ハツエ

##### 社会福祉施設・団体又はその従事者

##### 大田原市社会福祉協議会職員

阿久津 久香 小林 由佳

##### 栃木県社会福祉協議会会長表彰

##### 民生委員・児童委員功労者

高梨 順子 高瀬 弘美 高野 陽子  
伊藤 耕一 五月女 兼光 平井 恵子

##### 優良施設・団体

大田原市更生保護女性会  
大田原国際交流会

## 栃木県共同募金会会長表彰

### 共同募金功劳者

福島 初夫	室井 光昭	小池 清一
田代 敏男	瀬尾 敏春	